

- 特集
- 材料不足・資材高騰時代、何を優先して守るか。
  - なぜ今、「換気」なのか
  - 「見えない空気」を、「見える化」
  - 基礎断熱住宅の湿気対策は「設計設備」の時代へ
  - 見えない住環境を、もっと分かりやすく。
  - 既設床下換気システム点検・リプレースのご提案
  - ノベルティ向けOEM制作いたします
  - 運賃改定のご案内

**ご挨拶**

拝啓 盛夏の候、皆様におかれましては益々ご清業のこととお喜び申し上げます。

平素より弊社製品ならびに事業活動に格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

昨今、住宅業界を取り巻く環境は大きく変化しております。原材料価格や物流費の高騰、人手不足、さらには世界的な情勢不安などにより、これまで当たり前であった計画やコスト感覚が通用しにくい時代となりました。住宅関連業界においても、「何を優先して守るか」が、これまで以上に重要なテーマになっていくと感じています。

そのような中、私たちSEIHOは創業以来一貫して、床下・小屋裏といった「見えない空間」の環境改善に取り組んでまいりました。住宅は完成した時間が終わりではなく、長く快適に維持していくことが本当の価値であると考えております。そして、その土台となるのが、空気・熱・湿気といった住環境の管理です。

近年は、高温多湿化や異常気象の影響もあり、住宅内部の熱や湿気の滞留が、建物へ与える負荷も大きくなってきています。だからこそ、目に見える設備だけでなく、「見えない部分」をどう守るか、という視点が、より重要になってきているのではないのでしょうか。

弊社はこれからも、床下換気及び除湿・小屋裏換気を通じ、住まいを長く守るための提案を続けてまいります。今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和八年 七月  
セイホープロダクツ株式会社  
代表取締役社長 大石 龍也  
敬具

既設床下換気システム点検・リプレースのご提案

床下換気扇の安全対策の歩み 過去の事例から学び、より安全な製品へ

**2010年以前 (技術基準改正前)**  
旧設計商品 (ブロー型・攪拌型)

20W (1.6A/100V)は構造が異なるため除外

長期 (10年以上) 使用の一部の製品において発火・発煙事例が発生

主な原因 (ほとんどが湿気地域)

- ① 塩害による影響 (潮風など)
- ② 床下浸水後の放置 (浸水による腐食)
- ③ 漏水 (給排水の漏れなど)
- ④ 薬剤による影響

長期使用による経年劣化と塩害や浸水、漏水および薬剤等の影響が重なって、腐食・断線前にわずかな導通が残ったり、異常電圧 (雷サージ) や絶縁低下等でコンデンサが劣化すると、条件によっては、ごく稀に異常発熱から発煙・発火に至る場合があります。

配線部腐食 → 発煙・発火発生メカニズム (イメージ)

対象台数 (旧設計商品の累計出荷台数)	発火・発煙事例	発生率
約350,000台	13件	約0.004% (約2.5万台に1台の発生率)

**2010年以降 (技術基準改正に先駆け対応済み)**  
安全対策実施商品 (ブロー型・攪拌型)

安全対策の強化・進化

主な安全対策

- 配線接続部の構造改善 腐食しにくい構造・部材を採用
- 耐腐食性能の向上 防錆部材の採用・表面処理の強化
- 防水・防湿対策の強化 配線部の防水処理・防湿カバーの追加
- 長期使用を考慮した設計 経年劣化を抑える部材・設計を採用
- 技術基準改善へ先行対応 2014年の技術改正に先駆けて対応済み

対策実施後の発火・発煙事故 **0件**

現在も長期使用製品については点検・リプレースを推奨しています。

■2010年以前の設置製品は現在16年以上経過しています。一般的に電気製品は10年程度を設計上の標準使用期間として管理される時代になっています。弊社床下換気システムでは現在、10年経過時「自動停止機能」を採用していますが、本機能採用前、且つ旧電安法基準に基づく2010年以前の製品についてはリプレース (買い替え) キャンペーンを活用し、使用停止へ点検・更新提案をお願いいたします。

**手順**

- ① 買い換えにより、取り外した換気扇のシリアルナンバーを当該物件買い替え製品の保証書余白に記載し、セイホーへ受付専用FAX: 092-595-5344
- ② セイホーにて、保証書内容と取り外した製品のシリアルナンバーを確認
- ③ キャンペーン終了後、セイホーにて集計。

●特典進呈時期 (キャッシュバック・商品券)  
・2026年1月~6月受付分 → 「2026年8月頃」  
・2026年7月~12月受付分 → 「2027年2月頃」

リプレースキャンペーンにつきましては、弊社：担当営業または品質管理課まで、お問い合わせください。TEL: 092-595-0704 ガイダンス5番 (品質管理課)

**車内消臭・抗菌**

フィトンチッド消臭クリップ

120個~オリジナルデザイン (外箱) の製作が可能です

ノベルティ向けOEM制作いたします

SEIHO PRODUCTS

●SEIHOオフィシャルニュースレター『ウインド・フロム・フューチャー』2026年 第52号 ●発行日 / 2026年7月20日発行  
●発行 / セイホープロダクツ株式会社 機器営業本部 〒816-0971 福岡県大野城市牛頭2364-3 tel 092-595-0704 fax 092-595-0931

For the coming generation **SEIHO**

\*最新情報はこちらで SEIHO-WEB www.seiho-sdk.co.jp

このニュースレターは、環境にやさしい大豆油インキ (SOYINK) を使用しています。

見えない住環境を、もっと分かりやすく。

SEIHOWEB・各種情報発信コンテンツを強化しています

情報発信も、住環境づくりのひとつだと考えています

近年、住宅を取り巻く環境は大きく変化しています。

高気密・高断熱化、基礎断熱工法の普及、湿気・結露・カビ問題の複雑化。そして、防犯や空気環境への意識の高まり。

一方で、インターネットやSNSには、断片的な情報や極端な表現も増え、「何を基準に考えればよいのか」に「くい」という声も少なくありません。SEIHOでは以前より、「見えない住環境」をテーマに製品開発を行ってまいりました。

そして現在、製品だけでなく、住環境そのものを考えるための情報発信にも力を入れていきます。

このたび、SEIHOWEBオフィシャルサイトをリニューアルするとともに、新たな情報発信コンテンツを順次スタートいたしました。

SEIHOWEBは以前より、「見えない住環境」をテーマに製品開発を行ってまいりました。

そして現在、製品だけでなく、住環境そのものを考えるための情報発信にも力を入れていきます。

このたび、SEIHOWEBオフィシャルサイトをリニューアルするとともに、新たな情報発信コンテンツを順次スタートいたしました。

**SEIHOWEB**

オフィシャルサイト

製品情報だけでなく、住環境に対する考え方や、技術背景、導入事例なども含め、より見やすく整理いたしました。

製品情報だけでなく、住環境に対する考え方や、技術背景、導入事例なども含め、より見やすく整理いたしました。

SEIHOWEBは以前より、「見えない住環境」をテーマに製品開発を行ってまいりました。

そして現在、製品だけでなく、住環境そのものを考えるための情報発信にも力を入れていきます。

このたび、SEIHOWEBオフィシャルサイトをリニューアルするとともに、新たな情報発信コンテンツを順次スタートいたしました。

住環境ラボ

床下・小屋裏・湿気・結露・換気・空気環境など住宅の「見えない部分」をテーマに、住環境を分かりやすく解説する読み物サイトです。販売目的だけでなく、業界関係者様や一般ユーザー様にも、参考資料としてご利用いただける内容を目指しています。

床下・小屋裏換気相談室

床下や小屋裏環境について「これは異常なのか?」「換気は必要なのか?」「湿気対策はどう考えるべきか?」といった疑問に対し、実例や考え方を整理しながら発信していく相談型コンテンツです。

セキュリティ専用サイト

自主警備型防犯システム「ライフディフェンス・エス」を中心に、住宅防犯の考え方や、侵入検知・威嚇・通知の仕組み、導入事例などを分かりやすく紹介するセキュリティ専用サイトです。

防犯を特別なものではなく、住環境性能のひとつとして考えるという視点で、情報発信を行っています。

Life Defense Clir

「防犯対策」や「ご家族の見守り」は「お金がかかる」と思いませんか?

SNSでの情報発信

住環境に関する情報発信を開始しております。

技術的な話だけではなく、日常の住まいの気づきや、季節ごとの住環境対策、施工現場で感じる変化なども含め、より身近な形でお届けしてまいります。

YouTubeチャンネル

床下・小屋裏換気、湿気対策、住環境改善、防犯システムなどについて、動画で分かりやすく解説しています。

住環境は、普段あまり意識されない部分だからこそ、問題が起きた時には大きな差となって現れます。

SEIHOはこれからも、「見えない部分」を大切に、「見えない部分」を大切に、製品づくりと情報発信の両面から、住環境づくりに取り組んでまいります。

SEIHOはこれからも、「見えない部分」を大切に、「見えない部分」を大切に、製品づくりと情報発信の両面から、住環境づくりに取り組んでまいります。

SEIHOはこれからも、「見えない部分」を大切に、「見えない部分」を大切に、製品づくりと情報発信の両面から、住環境づくりに取り組んでまいります。

空気の流れを「見える化」する、体験型の学び場

## 顧客提案の“説得力”が変わる。

床下換気シミュレーションスタジオ

実際の空気の流れを体感し、換気の効果を見て・触れて・納得する”施設です。

床下の空気の流れを可視化  
換気や換気設備、攪拌の効果を実験に確認。

実験と比較で効果を検証  
換気量や開口部の違いによる効果を検証。

専門家と学ぶ・つながる  
設計者・施工者・研究者が集う場。

SEIHO PRODUCTS

■床下換気は、実際の空気の流れが見えにくい設備です。そのためSEIHOでは、床下空間の気流を可視化する「床下換気スモークシミュレーションスタジオ」を設けています。スタジオ内では、床下を再現した空間にスモークを流し、**・滞留しやすい場所**  
**・換気による変化**などを、実際に目で確認することができます。

この施設は、**・製品開発・気流検証**  
**・販売店研修・施工勉強会**などにも活用されています。

床下換気は、見えない場所への提案だからこそ、分かりやすさと納得感が重要です。弊社ではこれからも、見えない床下環境を「可視化」しながら、より良い住環境提案へつなげてまいります。

■スモークシミュレーションスタジオの視察・体験は随時受け付けていますので、ご興味のある販売店様・施工店様は、ぜひお問い合わせください。

# 「見えない空気」を、「見える化」



## 床下・小屋裏・・・いま改めて見直される“見えない空間”

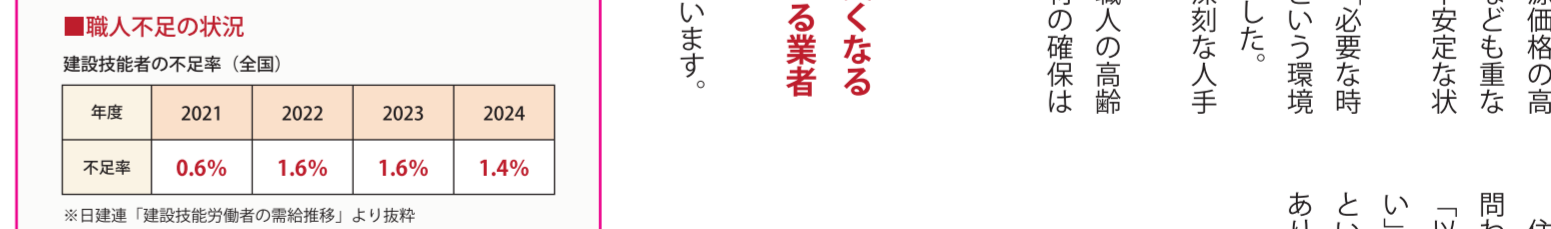
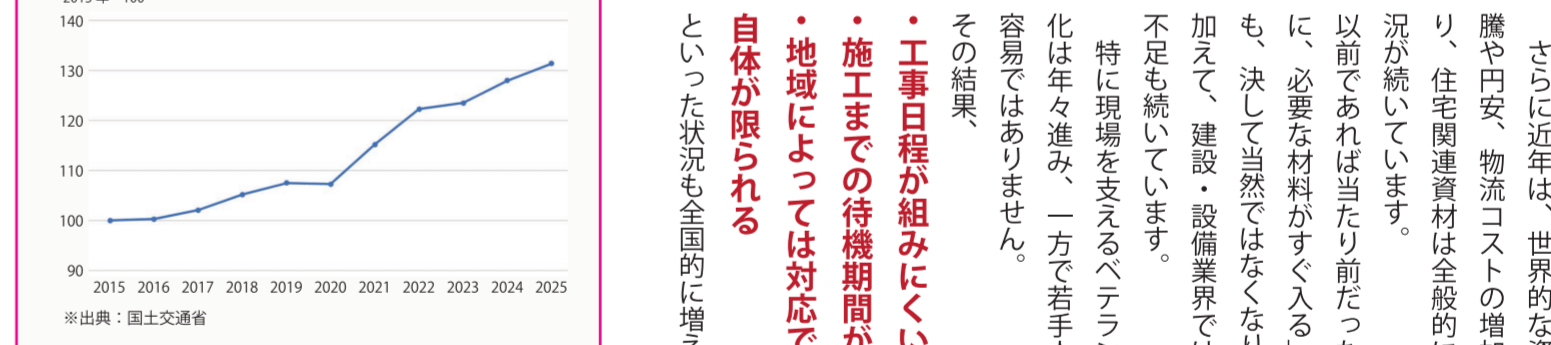
住宅業界を取り巻く環境は、この数年で大きく変化しました。**木材価格の上昇。設備機器の値上げ。職人不足と納期長期化。**こうした変化は、一時的なものではなく、住宅業界全体の構造変化として定着しつつあります。

さらには近年は、世界的な資源価格の高騰や円安、物流コストの増加なども重なり、住宅関連資材は全般的に不安定な状況が続いています。

以前であれば当たり前だった「必要な時に、必要な材料がすぐ入る」という環境も、決して当然ではなくなりました。加えて、建設・設備業界では深刻な人手不足も続いています。

特に現場を支えるベテラン職人の高齢化は年々進み、一方で若手人材の確保は容易ではありません。

その結果、**・工事日程が組みにくい**  
**・施工までの待機期間が長くなる**  
**・地域によっては対応できる業者自体が限られる**といった状況も全国的に増えています。



■職人不足の状況  
建設技能者の不足率 (全国)

年度	2021	2022	2023	2024
不足率	0.6%	1.6%	1.6%	1.4%

※日建建「建設技能労働者の需給推移」より抜粋

■納期長期化の例

- ・設備機器 (給湯器・コンロ等) ……平均2~3か月待ち
- ・ユニットバス ……平均1~2か月待ち
- ・外壁材・建材 ……納期遅延が常態化

■納期長期化の例

### TECHNICAL MEMO

建材価格・物流費・人件費の上昇は、住宅維持コスト全体へ影響を与えています。そのため近年は、“壊れてから修繕する”だけでなく、“壊ませにくい環境を維持する”という考え方も重要視されています。

# SEIHO HEADLINE



住宅業界では今、新築・リフォーム問わず、「以前と同じ感覚では工事計画が組みにくい」という声は、全国で当たり前になりつつあります。

## なぜ今、「換気」なのか

以前は、「古くなったら交換する」という考え方が一般的でした。しかし現在は、単純に設備を交換するだけでなく、大きなコストが発生する時代です。さらに、資材価格・物流費・人件費の上昇は、住宅維持全体へ大きな影響を与えています。

だからこそ今は、「できるだけ傷ませない、劣化を加速させない」という視点そのものが、住宅維持の重要なテーマになっています。

資材が高い時代において重要なのは、

- ・交換しない
- ・やり替えない
- ・壊さない

この3つです。多くの人は、**・キッチンを新しくする**  
**・外装を塗り替える**  
**・内装を整える**といった「見える部分」にコストをかけます。もちろんそれも大切です。ただ今の時代においてはもう一つ、優先順位を見直す必要があります。

それは、見えないところを整えること。床下や小屋裏の環境が安定していれば、構造材の寿命は確実に延びます。つまり換気は、修理費を抑えるための設備ではなく、そもそも**修理を発生させないための投資**とも言えます。

### 床下や小屋裏

- ・湿気・熱気・空気滞留 など、住宅へ長期的な影響を与える要素が集中しやすい場所でもあります。
- ・だからこそ近年は、表面だけを整えるのではなく、「建物内部環境そのものを安定させる考え方」が重要になっていきます。弊社では長年、
- ・床下換気
- ・除湿
- ・小屋裏換気

を通して、住宅の見えない空気環境と向き合ってきました。

そして、住宅を長く維持していくために、床下や小屋裏といった見えない空間への視点は、これからさらに重要になっていくと考えています。

## 床下や小屋裏は「住宅性能維持」を静かに左右する

木造住宅において、床下は単なる空間ではありません。土台・大引き・根太といった構造を支える木部が集まる場所です。ここで起きているのは、

- 含水率の上昇
- 腐朽菌の活動
- シロアリの活性化

といった、静かな劣化です。

一方小屋裏は、ここでは、夏場には高温化し、冬から春にかけては結露が発生しやすい場所です。特に最近では、

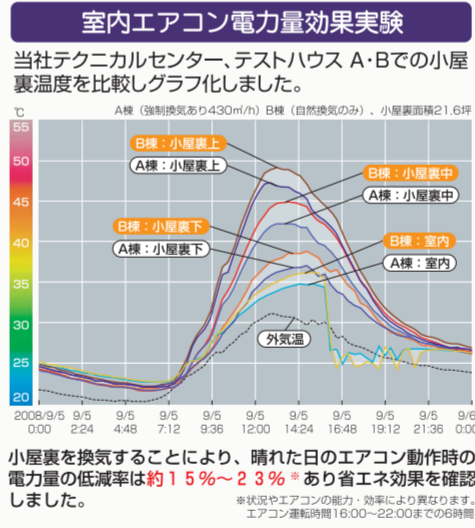
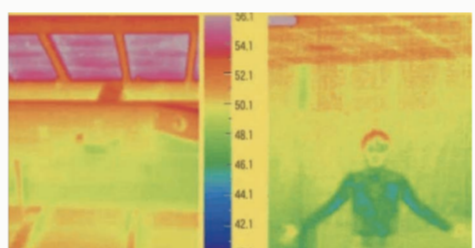
- 高断熱化
- 気密性の向上

によって、逃げ場のない空気が滞留しやすい構造になっています。

結果として、

- 屋根裏のカビ
- 断熱材の性能低下
- 構造材の劣化

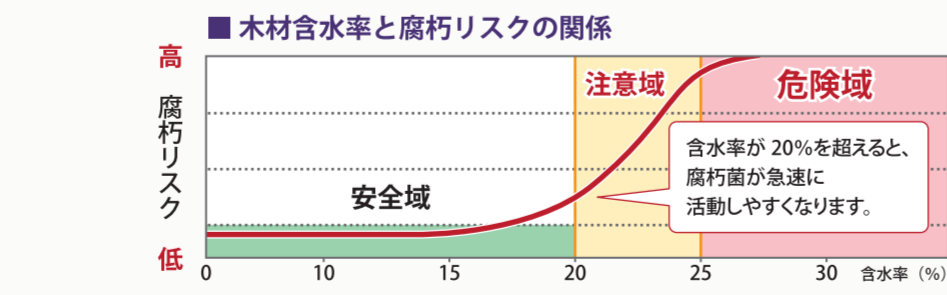
といった問題が、「気づいたときには広がっている」状態になります。



重要なのは、これらは一気に壊れるのではなく、じわじわ進むこと。だからこそ、対策も「じわじわ効かせる」必要があります。

含水率の上昇 腐朽菌の活動 シロアリの痕跡 カビの発生

床下換気は、湿気を「取り除く」のではなく、空気を動かし続けることで木材の状態を安定させるための仕組みです。いわば、住まいにとっての体質改善です。



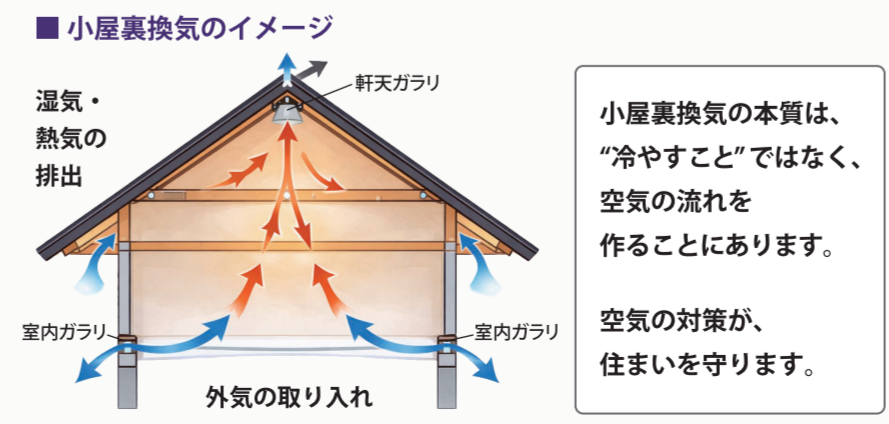
■床下換気の効果イメージ

換気が不十分な場合 換気が確保されている場合

床下換気のポイント

- ✓ 空気の出入口を確保する
- ✓ 床下全体で空気を動かす
- ✓ 継続的な換気がカギ

一度の換気で終わりではなく、継続的に機能することが重要です。



小屋裏換気の本質は、「冷やすこと」ではなく、**空気の流れを作ること**にあります。

空気の対策が、住まいを守ります。

### 基礎断熱住宅の湿気対策は「設計設備」で決まる

基礎断熱住宅の湿気対策は「設計設備」で決まる

床下は(初期)年単位で湿気を放出し続けます

床ガラリ等で室内と床下がつながり、熱的に連続した一体空間になります。

基礎断熱住宅では、床下は外気で自然乾燥する空間ではなく、室内側に取り込まれた「密閉管理空間」です。さらにコンクリートは施工後も年単位で湿気を放出し続けるため、湿気の逃げ場が不足すると床下に滞留しやすいくなります。特に全館空調との組み合わせでは、床下の湿気が住宅全体へ循環するリスクもあり、設計段階からの湿度管理が重要になります。

こんな相談、増えていますか?

- カビ臭がする
- 収納がジメジメする
- 夏場の湿度が下がらない

原因の多くは「床下の湿気」。施工不良ではなく、工事理解不足による「設計前提の欠陥」で起きています。

基礎立ち上がりを断熱材で連続施工 初期コンクリートは年単位で湿気を放出 外周部を断熱で囲い、外気の影響を遮断 スラブ下も断熱材で施工

床下の湿気は室内へ移動し、住宅全体の環境に影響します。

見えない床下環境こそ、住環境提案の本質。

湿気の発生源は常に存在する 自然排出は起きにくい 密閉構造で滞留しやすい

床下の湿気が家全体に循環 室内・天井へ湿気が移動 見えない場所でのカビリスクが拡大

床下湿度導入のメリット

- ✓ 床下湿度の安定制御
- ✓ コンクリート放湿の継続回収
- ✓ 湿気の室内監視抑制
- ✓ カビ・腐朽リスクの予防

住まいの価値向上につながる要素

- 施主満足度の向上
- メンテナンス期間の短縮
- 住宅性能の長期維持

床下環境管理設備として

換気だけでは不十分な時代へ、床下専用除湿による計画的な管理を。

見えない床下環境こそ、住まいの価値に直結しています。

